

関係各位

市川学園市川高等学校
校長 及川 秀二

SSH 授業研究会開催のお知らせ

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解、ご支援を賜り、まことにありがとうございます。本校は今年度、SSH 指定4期目2年目を迎え、「自立的に取り組みつつ、幅広い視野を備え、新しい領域を切り開く生徒の育成」を研究開発課題に掲げ取り組んでおります。今回、その取り組みの成果として、開発した授業を公開することとなりました。つきましては、大変お忙しい時期ではございますが、是非諸先生方にご来校をいただき、ご助言を賜りますよう、ご案内申し上げます。

記

1. テーマ 自立的に取り組みつつ、幅広い視野を備え、新しい領域を切り開く生徒の育成
2. 月日 2025年11月26日(水)
3. 時程

10:30	受付開始
11:00-11:20	開会式・SSH 概要説明
11:35-12:25	公開授業①(理科・数学)
12:25-13:10	昼食・休憩・午後の受付
13:10-14:00	公開授業②(国語・社会・英語)・SSH 中間発表会
14:10-15:00	公開授業③(数学・国語・社会・英語)・SSH 中間発表会
15:10-15:40	分科会A(公開授業②・SSH 中間発表会についての意見交換会)
15:50-16:20	分科会B(公開授業①・③についての意見交換会)
16:20	分科会ごとに終了・解散

	11:00	11:35	12:25	13:10	14:10	15:10	15:50	16:20
理科	SSH 説明	公開授業①	昼食 休憩	SSH 中間発表会		SSH 中間発表会 意見交換	公開授業① 意見交換	
数学		公開授業①		公開授業③	公開授業①③ 意見交換			
国語・社会・ 英語				公開授業②	公開授業③	公開授業② 意見交換	公開授業③ 意見交換	

4. 申込み方法

- ・Webの申し込みフォーム(以下のURL,もしくは右の2次元バーコードから)
<https://forms.gle/9UdmBwBi3feBjwtk6>
- ・申し込み受付は11月24日(月)までです。



以上

5. 公開授業の概要

【国語】

時程	科目	授業の単元・概要	学年	担当者
②13:10	国語	「書く」を見比べる 近代的なテーマを扱った評論を題材に、書いたものを生徒同士でつきあわせて見比べる。	中1	大村亮介
③14:10	国語	小説執筆および選考会の実施 テーマに基づいてショート小説を執筆したうえで、各班に分かれて優秀作を選考する話し合いを実施する。	高1	早川隆文

【社会】

②13:10	地理 AL	地形図の判読・活用 地形図を題材に、自身の生活につながる地形や防災に関する内容の判読、活用の技能を学ぶ。	高2	重野拓基
③14:10	公民 AL	小論文作成のための中間発表 3学期の小論文執筆にむけ、生徒による中間報告（先行研究や各自の今後の方針など）を1人ずつ発表。（クラスを20人ずつに分け、2教室で展開）	中3	馬場晴美 本川梨英

【数学】

①11:35	数学 I	数学 II 「指数関数・対数関数」 対数の近似値を求めるために、対数関数のグラフの性質を利用して評価することを行う。具体的には Jensen の不等式の考え方をもとに近似したい点を含む計算しやすい区間を設定し、その区間において対数のグラフを直線で近似することで評価する。	高1	松本昌也
③14:10	数学 C	数学 C 「いろいろな曲線」 マグカップに光を当てると底にネフロイドやカージオイドが見られることが知られている。本授業ではこの現象（コースティクス、caustics）をもとに光線の方程式の導出、包絡線の導出など、現実事象を数理モデルに置き換え解析することを行う。	高3	秋葉邦彦 河端善登

【理科】

①11:35	理科	粒子モデルの獲得を目指すアクティブ・ラーニング型授業 「ものが溶ける」という事象について推論するために、生徒同士の話し合い活動を通じて「粒子モデル」を獲得できることを目指す。	中1	野原大輝
①11:35	化学基礎	研究テーマ設定に向けた指導 化学と人間生活を題材に、「はかる」・「くらべる」・「つくる」・「つかう」といったキーワードをもとにして研究テーマ設定への思考の枠組みをつくる。	高1	乾大介

【英語】

②13:10	論理表現 I	関係詞/比較の Productive Skills 関係詞を使った2枚の写真の描写と比較を使った類似点と相違点を説明する。	高1	藤野賢治
③14:10	英語 コミュニケーション II	英語での対話 身近な話題に関して、英語でのディスカッションを通して考えを深める。	高2	小澤尚果

【課題研究】

13:10-	市川 サイエンス	SSH 中間発表会 これまでに取り組んできた研究の途中経過を報告し、質疑を通して今後の取り組みの改善へとつなげる。 発表形式：口頭発表（スライド） 発表件数：数学 1, 物理 25, 化学 12, 生物 25, 地学 3 ※複数会場に分かれて発表を行う。	高2	14名 数学 1 物理 4 化学 4 生物 4 地学 1
--------	-------------	--	----	---